

23

飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ

医師の井村和清は、三十歳の時に右膝に悪性腫瘍が見つかって手術を受けますが、肺に転移して三十二歳で亡くなりました。井村は当時二歳だった長女・飛鳥ちゃんと、妻・倫子さんのおなかの中にいた次女・清子ちゃんに宛てて手紙を残します。そこには心の優しい思いやりのある子に育つようにとの願いが書かれていました。

